

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2016年3週の県全体の定点当たり報告数は、2週の5.82から増加し14.13となり、国の定める注意報基準値(10)を超えた。前週から2倍以上の増加となっており、今後の流行状況に注意が必要である。

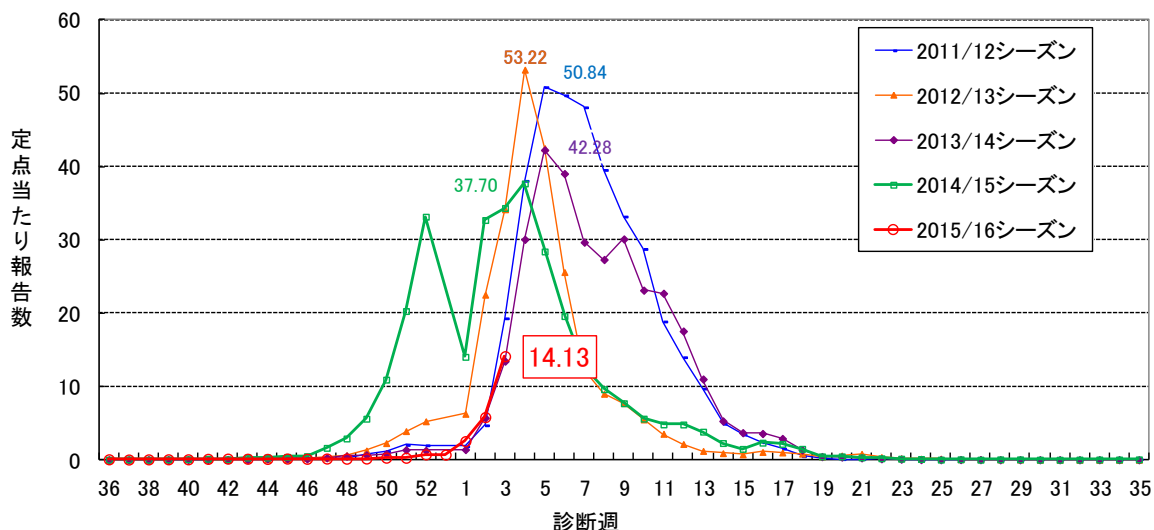
保健所別では、16保健所中全ての保健所管内で増加し、長生(20.00)、習志野(19.69)、印旛(19.38)、市原(16.82)、船橋市(16.41)、松戸(15.72)、千葉市(15.68)、君津(15.38)が多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が34.9%、0～4歳が19.0%、10～14歳が12.8%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、5,182例中A型4,038例(77.9%)、B型1,107例(21.4%)、A and B型17例(0.3%)、A or B型20例(0.4%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

